

8.15

2000/NO.926

奈良

お知らせ号

しみんだより

奈良市のシンボル



ナラヤエザクラ

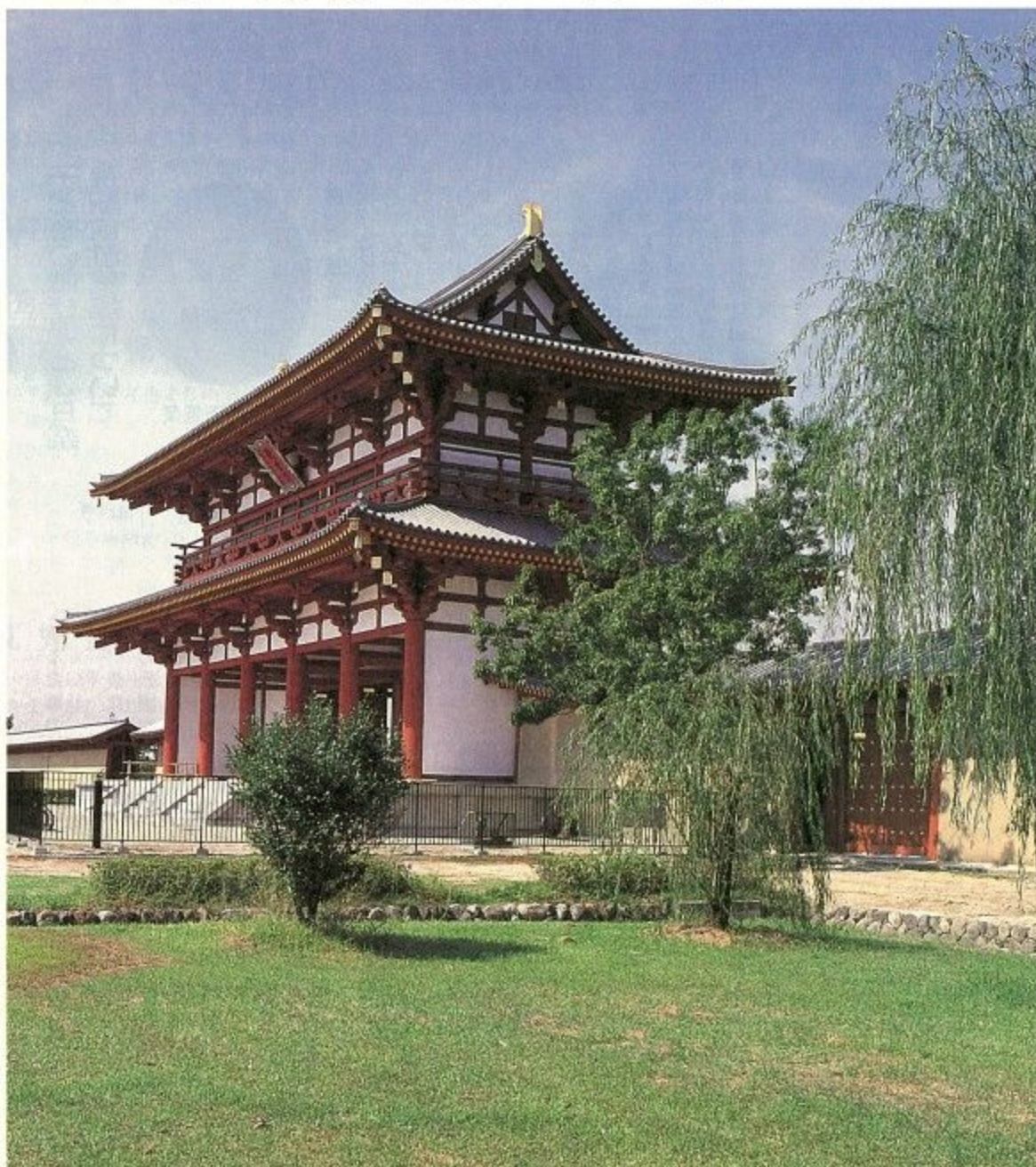


イチイガシ



ウグイス

▶ 8月15日は戦没者を追悼し、平和を祈念する日です。



世界遺産 平城宮跡 (朱雀門)

子ども議会開催

～四十四校の代表が市長に質問～

七月十七日、市議会議場で、四十四市立小学校から代表の子どもたちが集まり、子ども議会が開かれました。
はじめに山本清奈良市議会議長が「子ども議会は年々活発になり、今日の開催を大変楽しみにしていました。立派に子ども議員を務めてください」と子どもたちを激励。

続いて大川靖則奈良市長が「二十一世紀は、これからの社会を担う大切な宝であるみなさんの時代となりますので、しっかりとがんばってください。今日は、大人が気づかない鋭い質問や提案がたくさん出ると思います。みなさん、勇気と自信をもってこの場で発言してください」と招集あいさつをしました。

●子ども議員のみなさん

- ▼堀越太郎議員（椿井小）
- ▼藤澤英美議員（飛鳥小）
- ▼栗原竜哉議員（鼓阪小）
- ▼椿井智香子議員（済美小）
- ▼吉村侑子議員（佐保小）
- ▼杉田寿憲議員（大宮小）
- ▼中尾真由美議員（都跡小）
- ▼東井宏樹議員（大安寺小）
- ▼木本朱美議員（東市小）
- ▼坂下正樹議員（平城小）
- ▼如中唯議員（辰市小）
- ▼長谷川智議員（明治小）
- ▼東元一正議員（帯解小）
- ▼福井文人議員（精華小）
- ▼東田直子議員（伏見小）
- ▼京谷忠明議員（富雄南小）
- ▼岡崎楽音議員（富雄北小）
- ▼廣岡加奈子議員（田原小）
- ▼谷朋樹議員（水間小）
- ▼大西佐知議員（柳生小）
- ▼久保美奈議員（大柳生小）
- ▼西上和孝議員（相和小）
- ▼和田華奈議員（あやめ池小）
- ▼末長志朗議員（鶴舞小）
- ▼中濱みなみ議員（鳥見小）
- ▼柚木綺彩議員（登美ヶ丘小）
- ▼正法院薫議員（六条小）
- ▼中村恵議員（青和小）
- ▼田中龍明議員（右京小）
- ▼豊田麻実議員（東登美ヶ丘小）
- ▼松永孝議員（二名小）
- ▼一箭良枝議員（西大寺北小）
- ▼大倉将太議員（富雄第三小）
- ▼今西彩葉議員（平城西小）
- ▼中村沙也花議員（大安寺西小）
- ▼黒川洋次議員（三碓小）
- ▼岡本直也議員（神功小）
- ▼持田理絵議員（朱雀小）
- ▼南浦聡介議員（済美南小）
- ▼豊川望議員（鼓阪北小）
- ▼村上雄亮議員（伏見南小）
- ▼小見山紀子議員（佐保台小）
- ▼上田綾希子議員（佐保川小）
- ▼間中貴史議員（左京小）

子どもの遊び場とJR奈良駅前駐輪場について



杉田寿憲議員

質問 最近、子どもの遊び場が少なくなり、外で遊ばない子どもが増えていると思います。また、駐車場などの危ない場所で遊ぶことになってしまっています。ぜひ大宮地区に、大宮子ども公園をつくってほしいです。

JR奈良駅前の仮設駐輪場を利用する人が多く、いつも自転車であふれています。ほくも毎日通る道ですし、多くの観光客も通る道ですから、このまま放っておけないと思います。みんなが通りやすく、

また美しくするための計画はありますか。

市長 現在、奈良市には三百九十四か所の公園や緑地があります。市では公園の清掃や木の手入れをしたり、また昨年は大宮六丁目の公園の整備などもしました。市の中心部である大宮校区には、ビルやマンションが多く、公園に適した場所を確保することが難しいですが、今、場所を考えているところです。

また、将来を担っていくみなさんが自由に自然に触れられるような自然の森、あるいは多目的広場も市内に作っていきたく考えています。

JR奈良駅周辺は現在、快適で住みよいまちづくりをめざして、着々と整備を進めています。駅の西側では、道路や駅前広場を整備し、住宅、市民ホール、ホテルなどが建ち、西側改札口もでき、多くの人々が利用しています。そのため、自転車の利用者も多く、仮の駐輪場を設けていますが、乱雑に置かれている状況です。多くの自転車を置けるようになりますが、使う人も責任を持ってマナーの向上に努めてもらうよう、これからも呼びかけていきたいと思っています。

今、JR奈良駅付近の連続立体交差事業を約十年先の完成をめざして進めています。線路が上ると自由に行き来できるようになり、広い駐車場や駐輪場も設置できるようになります。

環境について



長谷川智議員

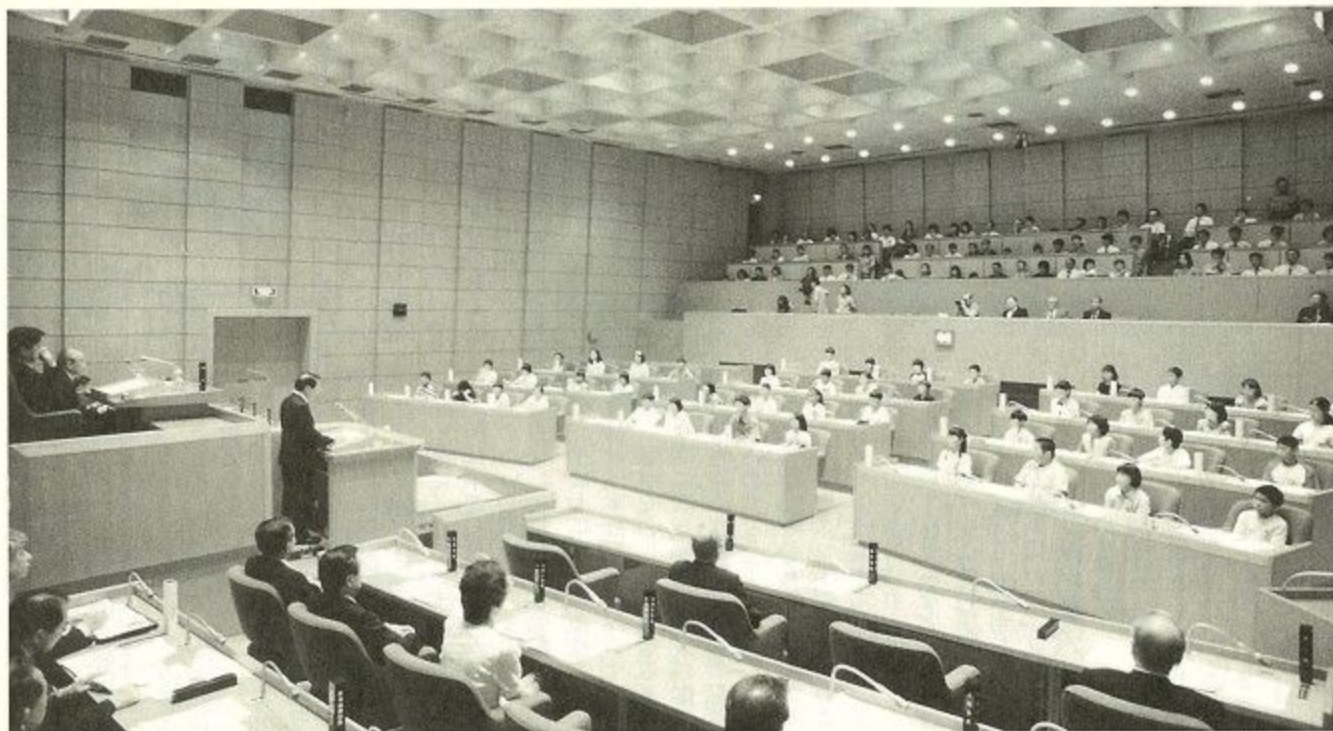
質問 子どもエコクラブに入り、ケナフの花を育てる取り組みをはじめました。ケナフはほかの木の五倍の二酸化炭素を吸い、五倍の酸素を出すそうです。そこで、この花を植えて地球がきれいになるといいなと思います。

また、車の排気ガスや工場などの煙などを少なくし、市全体をおいしい空気にしたいです。地球にやさしい奈良市にするため何か考えておられますか。

市長 地球の温度が二・五度上昇すると、南極の氷が溶けて海の水が一メートル上がり、ゼロメートル地帯に住んでいる人は住めなくなるので



議長を務める山本清市議会議長（上段）



市立小学校44校の代表が市議会議場に集まりました



招集あいさつする大川市長

はないかということも聞いています。また、インドの小麦が四十%、中国のトウモロコシが六十%減産するというような状況にもなります。

我々の手で、しっかりと地球を守って、後世に引き継いでいかなければならないと考えています。

今、便利で快適な暮らしをしている中で、二酸化炭素などのガスが増えて、地球温暖化や酸性雨の問題が出てきています。一年草の植物であるケナフは特に、二酸化炭素の吸収量が多いということです。しかし、ケナフは成長速度が非常に速く、他の野生植物への影響なども心配されますので、植栽場所について慎重に考えていく必要があります。

奈良市は世界遺産をはじめとする多くの文化財を有し、緑も豊かです。しかし酸性雨などの環境問題によって、奈良公園などの松の木が枯れたり、千二百年以上も前に作られた東大寺大仏殿前の八角燈籠（国宝）が、わずかこの三

質問 東部地域では、兼業農家がほとんどです。でも主に農業をしているおじいちゃんやおばあちゃんが年をとり農業ができなくなると、空いた土地が増えていくと思いませんか。そうするとますます人が少なくなります。



大西佐知議員

東部地域の農業と道路の整備について

十年の間に腐食しました。そこで、四月からアイドリングストップに関する新しい条例を作り、余計な排気ガスを減らすよう協力を呼びかけています。

また、観光シーズンの春と秋には車が観光地に殺到しないよう、パークアンドバス・サイクルライドを実施し、そこから自転車などで市内を回ってもらうことにしています。

そしてもう一つは、毎月二十日はならマイカーひとやすみデーとし、その日はできるだけ自転車や電車、バスなどを利用してもらうことです。

みなさんも電灯などこまめに節約してエネルギーの無駄使いをしない地球にやさしい暮らしをしてください。

道を広げたり、カーブをなくしたりして、まちなぎやすいようにすると、若い人が住んで人口が多くなると思っています。東部地域で何か計画はありますか。

市長 市では、大型の農機具が使えるよう小さな農地をまとめて大きな区画の農地にする圃場整備を行っています。

また、各農家の生産したお茶を大きな工場で速く楽に製品にできる施設も設けています。農業が魅力ある仕事となり、農業を継ぐ人が増えて、東部地域の農業の振興が図っていけるものと考えます。

東部地域は人口が減少し、高齢化が進んでいます。地域の活性化を図るため上下水道などの基盤整備を進めています。上水道は平成十五年度に計画地域全戸に通る予定です。下水道も計画地域の半分以上工事が終わっています。まだ事業計画がされていないところも、早く整備できるように努力したいと思っています。

また道路も、名阪国道から北村町までの間に大和グリーンロードを計画、東部地域の活性と発展につながると思っています。就職の場の確保や、優良田圃住宅などの構想によって、新しく住宅の開発なども行い、東部地域以外の人たちも住むことができるような方法も検討しています。

誰もが住みやすい まちづくりについて



末長志朗議員



真剣な表情で耳を傾ける子ども議員たち

のような計画がありますか。
市長 市では昭和四十七年に、みんなの幸せを願って「福祉憲章」を制定しています。そして昭和四十九年には、国から「身体障害者福祉モデル都市」の指定を受けました。

体の不自由な方やお年寄りが安心して通行できるような歩道と車道の段差をなくすための工事などを毎年実施し、今年度までに計画した約三千か所の整備が一応完了しています。指摘の場所は早速、現場に向かって修理したいと思っています。

住みよいまちづくりをめざして、平成七年には「奈良市障害者福祉基本計画」を作って、障がい者が安心して暮らせるまちづくりに取り組み、道路の修繕や障害物の移設などの工事を進めています。

図書館など公施設にはエレベーターやスロープ、障がい者用トイレも設置しています。学校には、実情に合わせてスロープ等を取り付けるなど施設の改善を進めています。

さらに、誰もが利用しやすいバスとして低床バス、ノンステップバス、リフト付きバスの運行も進めています。

障がい者問題は、障がい者だけの問題ではなく、社会全般の問題として取り組んでいかなければならないと思っています。やさしさとふれあいのあるまちづくりができるよう、みなさん

もこの輪を大きく大きく広げてください。

お年寄りに対する くまびりにくいて



豊田麻実議員

質問 老人福祉について学習

し、地域のお年寄りの方と交流しました。目が見えにくいか、耳が聞こえにくいか、足が重く感じるとか、関節が曲がりにくいかといった体の状態を聞き、お年寄りが不安や不便を感じながら過ごされているこの状況を改善したいと思いました。

また、一人暮らしのお年寄りの家を訪ねた時、楽しく意味のある話をたくさん聞きました。お年寄りとの話から私たちもこれからの二十一世紀をより暮らしやすいものにするためのヒントをたくさんいただけるのではないかとも思います。お年寄りの方々をはじめ、すべての人が住みよい奈良市にするためにどのようなまちづくりを進められていますか。

市長 お年寄りには長年、社会のためにずいぶんご苦労をいただいたのです。したがって、お年寄りに感謝をしなければなりません。

奈良市では平成六年に、「高

齢者とともに歩むまち奈良」の宣言をしました。これは、何もない時代から豊かな社会をつくらせていただいたお年寄りの持つおられる多くの経験と知識を生かしてもらおうと考え、宣言しました。

私は、「やさしさとふれあいのあるまちづくり」を行政の理念とし、その中で、人にやさしく、事にやさしく、物にやさしく、三本柱を掲げております。人にやさしくというのは、お年寄りにやさしくする、障がい者の方にやさしくする、か弱い方にやさしくするということで、感謝の気持ちをもって接してほしいと思います。

市では、「老人保健福祉計画」を作成し、この計画に基づいてお年寄りが健康で生きがいのある生活を送ることができ、また介護などが必要になっても住み



熱心に市長の答弁をメモしていました

慣れた家庭や地域で暮らすことができないようなまちづくりをしていきたいと考えています。そのためにも、お年寄りと接して、お年寄りのためにお手伝いをすることが、大切だと思っています。みなさんもそのような心がけでお年寄りと接してください。

科学センターの 設置について



今西彩菜議員

質問 星を観測できるプラネタリウムや、地震やスピードな

どの体験、理学的な実験ができる科学センターを設置してほしいと思います。多くの人がこの施設に行っているような体験ができ、プラネタリウムで星のことが分かっていいと思います。

市長 奈良市には自然に恵まれた緑豊かな空気のきれいな所がたくさんあります。東部地域、たとえば中ノ川地域に予定している「仮称・市民憩の森」の中に星の観察ができるような施設を建てられたらと思っています。ところが現代の科学や技術はめざましく進歩するので、先を見つめたプラネタリウムの建設をしていかなければならないのではないかと思います。

現在、東部の阪原町に青少年野外活動センターがあります。そこには天体望遠鏡もあり、澄んだ空気のもとで、はるか宇宙の星の観察をしたり、探求心を満足させていただくことも一つの方法だと思います。

科学センターについては全力をもって建設に向かいたいと思っています。

水辺の楽校について



南浦聡介議員

質問 昔、岩井川はホテルがすめるような川でしたが、今は空き缶やゴミが流され、とても汚い川です。しかし、暑くなると水の中に入って魚やザリガニ取りをしたくなります。そこで、岩井川を誰もが安心して川の中に入れ、魚や動物がたくさん集まり、ホテルがすみ、川辺で楽しく遊んだり集会ができる水辺の楽校にしてほしいと思います。

市長 ごみや空き缶を川に捨てると、景観が悪くなって、水質も汚くなります。私たち市民一人ひとりが川を愛し、力を合わせて汚さないようにして、美しくしていかなければならないのです。そのためには、みなさ

んの心構えが一番大切なことであり、昔のようにたくさん魚やホテルがすめるような美しい川にみんなできていきたいと思っています。

水辺の楽校は、水辺の空間をとった自然体験・学習の場・遊びの場として活用できる非常にすばらしいものです。県と市、学校、PTA、地元の自治会などと協力してつくっていくものです。その事業ができるよう国に対して応募し登録してもらう努力をしたいと思っています。そのためには、川への関心が高く、清掃活動などが盛んで地域に根ざした河川として、親しまれていることがたいへん大事なことです。

岩井川は県が管理する一級河川です。現在、上流で岩井川ダムの建設をしているため、ダム工事の進み具合と地域の方々の協力態勢を合わせながら、国に登録決定してもらうように働きかけます。

小学生のボランティア活動について



豊川望議員

質問 アメリカや北欧の国では、生活にボランティア活動が根付いてお互い助け合って生活

しています。私は、老人ホームや福祉施設でのお年寄り、障がい者とのふれあいや奈良市を訪れる観光客へのサービス、学校にも通えず病気になる子ども治療を受けられない貧しい外国の子どもたちへなど、自分たちができることを考えてボランティア活動を積極的に行っていくべきだと考えます。

奈良市では、小学生がボランティアとして登録できるシステムはありますが、ボランティアを通して、自分が必要とされている喜びを感じ、弱い人に対する優しさの気持ちを小学生の頃から育てることが大切だと考えます。市としての考えや、今あるシステムを教えてください。

市長 ボランティア活動はますます盛んになってきています。参加する人も、大人から子どもまで幅広く、またその活動範囲も広がってきています。

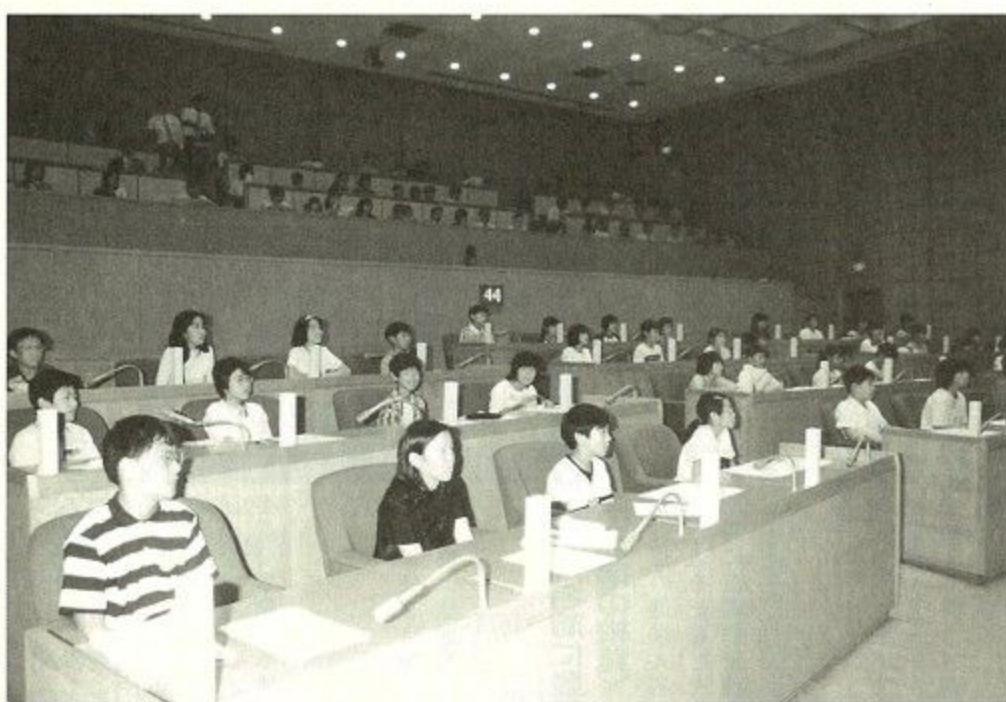
現在、奈良市には、ボランティア活動の拠点としてボランティアセンターがあります。そこに登録されているグループは百七団体で、四千三十四人が活動しています。現在、小学生のボランティアバンク登録はしていませんが今後、検討したいと思っています。

ボーイスカウトやガールスカウトの子どもたちには市の行事をはじめとするあらゆるところでボランティア活動をしていただいています。子ども会や地域

のリーダーになる人を育てるため、ジュニアリーダー養成講習会を開催したり、市内の小・中学校の中から福祉協力指定校を選び、地域のお年寄りとのふれあいや車椅子の取り扱いなどの学習をしています。

このようなことからボランティア活動に関心をもってもら

い、参加することは非常に大切なことです。お年寄りは長年社会のために尽くしてこられました。また、障がい者の方々も自分の障がいに負けずがんばっておられます。少しでもみんなの手助けをすることが明るい奈良のまちをつくりだしますので、みなさん協力してください。



本議会さながらの雰囲気を経験しました

奈良市長選挙

投票日9月10日(日)

みんなそろって投票しましょう

奈良市長選挙が、9月3日(日)告示、9月10日(日)投票の日程で行われる予定です。
この選挙は、今後4年間の市政をまかせる人を選ぶ極めて重要な意味を持つ選挙です。
私たちが地方政治に対して意思表示のできるこの機会をのがさず、投票日には主権者の誇りと責任をもって、大切な一票を無駄にすることなく、みんなそろって投票しましょう。

〈投票できる人〉

昭和55年9月11日までに生まれた日本国民で、平成12年6月2日以前から引き続き奈良市の住民基本台帳に登録され、かつ居住している人。

〈市内転居の人〉

平成12年8月16日以後に市内転居の届出をした人は、前の住所地の投票所で投票してください。

〈市外転出の人〉

この選挙は市の選挙ですが、投票日まで市外へ転出した人は投票できません。

〈選挙通知書〉

選挙通知書(はがき)は、郵便でお届けします。この通知書は、投票所などのお知らせをする一方、投票事務を円滑に行うためのものです。投票所へは必ず持参してください。もし届かなかつたり、紛失した場合、または投票所へ持参するのを忘れたりした場合は、投票所で申し出てください。選挙人名簿に登録されていれば通知書を再発行します。

〈投票時間〉

投票日の午前7時～午後8時

〈不在者投票〉

時。

投票日当日に仕事や用事などがあると見込まれる人は、9月3日(日)～9月9日(土)に不在者投票ができます。

不在者投票は、前記の期間中、曜日に関係なく毎日午前8時半～午後8時に投票できますので、次のところで手続きしてください(選挙通知書が届いている場合は、持参してください)。

◇奈良市役所(二条大路南一丁目)北棟3階不在者投票記載場所
◇選挙人名簿に登録されている市内全域の有権者が対象。

◇西部出張所(学園北一丁目)1階不在者投票記載場所
◇選挙人名簿に登録されている西部出張所管区域の有権者が対象。

※病院や老人ホームなどで不在者投票指定施設として指定された施設に入院、入所している人は、その施設で不在者投票ができますので、施設の管理者に申し出てください。

〈郵便による不在者投票〉

「郵便投票証明書」の交付を受けている人で、郵便投票をする人は、投票日の4日前

(9月6日(水))の午後5時までに、市選挙管理委員会へ「郵便投票証明書」を添付して投票用紙と投票用封筒を請求してください。この郵便投票証明書の有効期間は、交付の日から7年です(ただし、平成10年5月31日以前に交付されたものについては、有効期間は4年です)。

有効期間が満了している人は、新規の証明書に切りかえてください。切りかえには、現在手もとにある郵便投票証明書と身体障害者手帳を持参のうえ、市選挙管理委員会事務局で手続きをください。また、新たに交付を受けようとする人は、同事務局に問い合わせのうえ(障がい程度などが法で定められています)手続きをください。

〈代理投票〉

身体の障がいなどにより、自分で字を書くことのできない人は、投票所の係員に申し出てください。係員が代筆します。

〈点字投票〉

目の不自由な人で点字投票をされる場合は、投票所の係員に申し出てください。

〈選挙公報〉

奈良市長選挙公報が発行されます。投票日の2日前までに配布することになっています。もし届かない場合は、市選挙管理委員会事務局へ連絡してください。

〈開票〉

即日開票で午後9時20分から市中央体育館(法蓮町)で行われる予定です。

〈新たに選挙人名簿に登録された人の名簿の縦覧〉

新しく奈良市の選挙人名簿に登録された人を記載した書面を次の期間に市選挙管理委員会事務局(市役所北棟3階)で縦覧できます。

【縦覧の期間】

定時登録(9月1日現在で同月2日に登録するもの)
選挙時登録(9月2日現在で同日に登録するもの)
いずれも9月3日(日)～7日(休)の午前8時半～午後5時

〈問い合わせ〉

市選挙管理委員会事務局(宮三 四―一一二一代)へ。

親子で楽しい一日 親子で遊ぼう！イベント



小麦粉ねんどは安全で楽しい遊び

七月二十三日、春日保育園と学園南保育園で親子で遊ぶうにこにこランドが開かれました。

この催しは、子育て中の家族に保育園の部屋を提供し、子どもの成長の確認・相談など子育てについて一緒に考えてもらおうと実施したもので、二百五十七人（子どもも百十二人、保護者百四十五人）が参加、年齢に応じたままごとあそびの部屋、作ってあそぼうの部屋、絵本・ふれあいの部

屋、知育玩具であそぼうの部屋に分かれ楽しく遊びました。参加者は、「保育園に入る前に一度体験してみたくて来ました。明るい園内で大変気に入りました」「子どもも大人も楽しめました。同じ年齢のお友達と遊ぶことができ、自分の子どもの成長を見ることができました」と評判は上々で、秋にも開かれるそうです。また、保育園では普段も子育てに関する相談を受けていますので、ぜひ利用してください。

君も考古学博士 ならむかし探検開催中

小中学生に、楽しみながら歴史を学んでもらおうと、市埋蔵文化財調査センター（大安寺西二丁目 電話三三一八二一）が、ならむかし探検を開いています。

同センター展示室には、奈良時代を中心に、弥生時代、江戸時代の出土品を遺跡ごとに展示してあり、見学に訪れた小中学生に質問の書かれたスタラッチカードをわたし、展示室の遺物や写真を実際に見ながら解くものです。質問には「埴輪には、色が

塗られたものがあるよ。何色かな？」「平城京跡から出土した鳥の形をした土器は、何の鳥を真似て作ったでしょうか？」など展示室をよく見学しないと解けないものも多く、興味を持ちながら奈良の歴史にふれることができます。

全問正解者には「子ども考古学博士認定カード」を発行しており、夏休みのよい思い出になるかもしれません。この催しは、土・日曜日を除き8月31日までの午前9時～午後5時に実施しています。



熱心に展示物を見学する子どもたち

青少年を非行から守る市民の集い

非行のない明るい社会を築こうと「青少年を非行から守る市民の集い」が、7月17日、史跡文化センターで開かれました。

はじめに大川靖則奈良市長が「子どもたちには、私たちが大人がしっかりルールを敷いて、正しい道を歩んでもらいたいものです。市では、わらべうたの普及を通して、親子の絆を深めています。これからも皆様のご協力を得て非行のない明るい奈良市を築きましょう」と呼びかけました。続いて、法務大臣からのメッセージが大川市長に伝達され、青少年の非行防止に参加者一同、誓いを新たにしました。その後、著書「だから、あな



議員の聴衆を前に講演する大平さん



非行防止を呼びかける大川市長

たも生きぬいて」で大きな反響を呼んでいる弁護士の大平光代さんの講演がありました。大平さんは、自らのいじめを受けた体験に始まり、非行に走り、そしては上がった思春期をその折々に支えられた人々との出会いを交え、淡々と語られました。最後に参加者から大平さんに多くの質問が寄せられ、その一つ一つを丁寧に受け止められ、応えられる姿が印象的で、快い感動と勇気が会場に溢れました。

当日は、千二百人の参加があり、会場がいっぱいとなったため、テレビ電話回線を使い、市役所6階正庁で、同時放映しました。市役所まで足をほんでいただいたみなさん、ありがとうございました。

行政

新たに在外選挙人名簿に登録された人の名簿の縦覧

新しく奈良市の在外選挙人名簿に登録された人を記載した書面を、次の期間に市選挙管理委員会事務局（市役所北棟3階）で縦覧できます。

【期間】9月3日(日)～7日(木)の午前8時半～午後5時。

くわしくは、同事務局へ。

県心身障害者作品展の出品作品を募集

12月2日～7日に県文化会館で開かれる同展の出品作品を募集します。

対象：心身障がい児・者 ▼種目：
 絵画、写真、書道、工芸、手芸、コンピュータ・タイプアート（縦12m、横1.8m、奥行1.5m以内） ▼点数：一人1点 ▼申し込み：9月14日までに市役所厚生課備え付けの用紙で同課へ。

排水設備工事責任技術者の受験講習と試験

受験講習 とき：10月25日(水)午前10時～午後4時 ▼ところ：地場産業振興センター（大和高田市幸町） ▼受講料：5千円（テキスト代は別に必要） ▼申し込み：9月1日～11日に市役所下水道管理課へ。

試験 とき：11月1日(水)午後2時～3時半 ▼ところ：地場産業振興センター ▼試験方法：筆記試験 ▼受験料：3千円 ▼申し込み：9月1日～

8月31日は市・県民税（第2期分）の納期限です。納税は便利で確実な口座振替を利用してください。

11日に市役所下水道管理課へ。 ※市で責任技術者の登録をする際、合格証の写しが必要です。合格証の交付手数料は3千円です。

【問い合わせ】市役所下水道管理課または県下水道公社（☎〇七四三―五六―二八三〇）へ。

マイカー点検教室受講者募集

マイカーの整備不良による事故防止や快適な運転のため、自動車の構造や点検・整備についての正しい知識を習得してもらおうと開きます。

とき：9月2日(土)午前10時～午後3時 ▼ところ：①奈良自動車整備振興会（南宮町二丁目奈良陸運支局内） ▼内

容：学科・実技講習 ▼参加料：無料 ▼問い合わせ：同振興会（☎六一―五三〇一）へ。



国際協力に関する作文コンクール

郵政省が国際協力への関心を高めてもらおうと募集します。

部門：①小学生 ②800字程度 ③中学・高校生 ④200字程度 ⑤一般 ⑥200字程度 ▼内容：海外でのボランティア活動など国際協力について思っていることを作文にし、題をつけて応募票とともに9月14日までに最寄りの郵便局へ ▼問い合わせ：奈良中央郵便局（☎三五―一六一二）へ。

天然記念物「奈良の鹿」に、むやみにエサを与えないで！

奈良公園の鹿は、奈良市の大切な観光資源であり市民みんなの財産です。奈良公園のように野生の動物が人間に慣れ、共存している例は他にありません。これを大切に続けていくため、次のことを守ってください。

●奈良公園以外では鹿に絶対エサを与えないでください

野生動物は自らエサを確保して生きています。奈良の鹿も野生で、おやつやシカせんべいを除けば、木の実、芝生など自然の物を食べています。人間がエサを与えると自らエサを取らなくなり、エサを与える場所へ集まったり、そこに住みついてしまいます。それにより、周辺の人家へ入ったり、農作物などを食い荒らすこととなります。このことは鹿だけでなく、イノシシ、タヌキなど野生動物全てにいえるので注意してください。

●奈良公園内では次の事に注意してください

- ▶自動車の運転に十分注意して徐行してください。鹿が急に飛び出すことがあります。
- ▶犬を放したり、すて犬をしないでください。鹿が犬に襲われたり、犬に追われて道路に飛び出し、交通事故の原因にもなります。
- ▶ビニール類のゴミを捨てないでください。誤って食べて、消化できずに死んでしまいます。
- ▶砂糖や香辛料の入った食べ物、また、野菜屑や古くなった食べ物などを与えないでください。病気の原因に

なります。

- ▶春（5月～7月）は、鹿の出産期のため母鹿に注意してください。近づくと子鹿を守るためたたくことがあります。
- ▶秋（9月～12月）は、鹿の発情期のため角鹿に注意してください。気が荒くなっていますので近づかないでください。

【問い合わせ】市鹿害対策協議会（市役所農林課内）へ。



催し・教室

総合福祉センター

〒831-0801 左京五丁目三十一番地
☎71-077700 機セー077111三

館外見て歩こう会

ウインナー作りを体験してみませんか。

とき：9月22日(金)午前9時～午後5時45分。雨天決行 ▼ 行き先：伊賀の里モクモク手づくりファーム(三重県)
▼ 定員：障がい者40人(介護者含む)
▼ 参加料：3千300円(昼食代など)
▼ 持ち物：エプロン ▼ 締め切り：9月10日 ▼ その他：介護が必要な人は介護する人も申し込んでください。

陶芸教室 とき：9月12日(火)～14日(木)、10月20日(金)・26日(木)の午後1時半

世論調査に

協力してください

市民の声を市政に反映させるため、市では毎年「奈良市政についての世論調査」を行っています。

今年も、住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の男女3千人を対象に調査票を郵送しています。受け取られた人は、設問に回答を書いて、名前は書かずに同封の封筒で返送してください。

なお、回答者の氏名や回答の内容が他に漏れることはありません。くわしくは、市役所広報公聴課へ。

3時半。5回
▼ 定員：障がい者12人
▼ 内容：陶芸の基本的指導(作品形成、素焼き、釉薬掛け、本焼き、窯出し) ▼ 受講料：無料。



材料費450円程度は自己負担 ▼ 締め切り：8月31日

〔申し込み〕センター備え付けの用紙またははがきに、住所、氏名、年齢、電話(ファクシミリ)番号、障がいの種別・程度を書いて、各締め切り日必着で同センターへ。視覚障がい者のみ電話申し込み可。多い場合は抽選。

サン・アビリティーズ奈良

〒831-0801 左京五丁目三十一番地
☎71-077755 機セー077111三

障がい者職業相談 とき：9月8日(金)午後1時半 ▼ 相談員：奈良公共職

業安定所専門相談員 ▼ 申し込み：来館または、はがき・ファクシミリに住所、氏名、電話番号、障がいの種別・程度、生年月日を書いて、9月1日必着で同所へ。視覚障がい者のみ電話受付可。

勤労者総合福祉センター

(サン・アクティブ奈良)
〒630-8106 篠原鶴岡町二五 ☎71-2444四

パソコン中級教室(水・金曜日コース) とき：9月20日、10月13日の毎週水・金曜日午後6時半～8時半。8回 ▼ 定員：10人。在勤も可 ▼ 内容：ウインドウズと一太郎の操作 ▼ 受講料：6千700円(教材費を含む)。

茶道教室(裏千家・初心者) とき：9月22日、12月8日の毎週金曜日(11月3日・24日を除く) 午後6時半～8時半。10回 ▼ 定員：10人。在勤

も可 ▼ 受講料：7千900円(教材費を含む)。

英会話教室(初歩の日常英会話) とき：9月29日、来月2月2日の毎週金曜日(11月3日・24日、12月29日、来月1月5日を除く) 午後6時半～8時半。15回 ▼ 定員：20人。在勤



も可 ▼ 受講料：8千900円(教材費を含む)。

〔申し込み〕往復はがきに教室名、コース名、住所、氏名、電話番号、勤務先を書いて、8月30日必着で同センターへ。1枚に一人1教室1コース限り。同一コースでの複数応募はできません。多い場合は抽選。

9月 移動図書館

つぎのとおり巡回しますのでご利用ください。

(駐車時間) A=午後 0:30～2:00 B=午後 2:30～4:00
□ は、中央移動図書館 □ は、西部移動図書館
(☎26-6101) (☎45-5669)

巡回日	時間	場 所
9/1(金)	B	東九条町モータープール(東松商店)
9/5(火)	B	八条町 八条隣保館駐車場
9/5(火)	A	平城西公民館駐車場
9/6(水)	B	中登美ヶ丘一丁目 中央集会所前広場
9/7(木)	B	四条大路南町 自治会館駐車場
9/7(木)	B	南永井町 第一児童公園前
9/7(木)	A	秋篠サンパレス駐車場
9/7(木)	B	北登美ヶ丘三丁目 近商ストア北登美店駐車場
9/8(金)	A	奈良ハイタウン 東入口
9/8(金)	B	東九条町 宮ノ森住宅集会所前
9/8(金)	A	富雄公民館駐車場
9/8(金)	B	富雄北三丁目 児童公園前
9/12(火)	B	西九条町 西九条会館駐車場
9/12(火)	A	丸山一丁目 西部生涯スポーツセンター球技場駐車場
9/12(火)	B	富雄泉ヶ丘 第3号児童公園(ABC公園)前
9/13(水)	A	川上町 ケアハウス万葉駐車場
9/13(水)	B	青山六丁目 集会所前
9/13(水)	A	富雄元町一丁目 第1エクセルハイツ駐車場
9/13(水)	B	富雄北一丁目 第2号街区公園前北(ロイヤルヒルズ富雄)
9/14(木)	B	法華寺駐車場
9/14(木)	A	帝塚山一丁目 第1号児童公園前
9/14(木)	B	帝塚山四・五丁目集会所 帝山荘前
9/19(火)	A	三松ヶ丘 第1号街区公園
9/19(火)	B	富雄団地48号棟前 天の川小径
9/20(水)	B	奈良市総合福祉センター駐車場
9/21(木)	B	佐保台二丁目 集会所駐車場
9/21(木)	A	平城第2団地集会所 なかよし広場
9/21(木)	B	右京五丁目 18棟前公園(丸太公園)
9/22(金)	A	五条西一丁目 ライフストア西の京店駐車場
9/26(火)	B	菅原町 やまや駐車場
9/26(火)	A	学園大和町一丁目 第1号児童公園
9/26(火)	B	千代ヶ丘一丁目 集会所前
9/27(水)	B	二条町三丁目2番地 浅沼組社員寮
9/27(水)	A	平城東公民館駐車場
9/27(水)	B	右京三丁目 平城3号近隣公園
9/28(木)	B	山陵町 信号機北側空地
9/28(木)	A	伏見公民館あやめ池分館
9/28(木)	B	西大寺堂ヶ丘 自衛隊宿舎駐車場

〈中央・西部図書館からのお知らせ〉
9月の休館日は4日、11日、15日、18日、23日、25日、30日。

8月31日は国民年金保険料8月分の納期限です。納付には便利な口座振替を利用してください。

児童手当(0歳)義務教育就学前の児童が対象・所得制限があります)の申請はお早めに。くわしくは、市役所児童課へ。

「采女祭」お稚児さん募集

市観光協会と采女祭保存会が、「采女祭」稚児行列への参加者を募集します。

とき：9月12日

(火)午後4時半～6時

▼コース：JR奈良駅前～猿沢池

▼対象：3歳～小学3年生

▼参加料：装束料として5千円(悪天候などで行列が中止された場合でも返金しません)

▼申し込み：市観光センター備え付けの用紙に必要事項を書いて、装束料を添えて9月5日までに直接同センターへ

▼問い合わせ：同センター(上三条町 ☎二二三九〇〇)へ。



采女祭

奈良マイチャントシードセンター

〒630-17 橋本町三二一 ☎二七一九四〇〇 二七一九四〇一

奈良商人塾 年間テーマ「21世紀を生き残る為の8講座」

とき：9月13日(水)午後7時～9時

▼テーマ：活力ある職場づくり

▼講師：人材開発コンサルタントの野島浩平さん

▼定員：50人

▼受講料：無料

▼締め切り：9月6日

▼マナーアップセミナー

接客マナー、電話応対など店員・社員としてのマナーを学びます。

とき：9月20日(水)午後1時～5時

▼講師：NTT奈良支店アムコスの青木慶子さん

▼定員：20人

▼受講料：無料

▼締め切り：9月4日

▼申し込み：往復はがきにセミナー名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いて、各締め切り日必着で同センターへ。1枚に一人1講座限り。フアクシミリも可。多い場合は抽選。

女性フェスティバル inなら

市内女性団体・グループのネットワークづくりの第一歩をふみ出そうと、今年をはじめて開きます。

とき：9月7日(木)午前10時～午後3時半

▼ところ：ならまちセンター(東寺林町)

▼内容：公演・ワークショップ・アート・グループ「らっぶ・まむ」による、生活の中の女性問題に焦点をあてた一人芝居(定員30人・要申し込み)

▼女性団体・グループの活動発表・舞台発表、ワークショップ、パネルなどの展示

▼その他：無料託児あり(2歳児・就学前の子とも30人・要申し込み)

▼申し込み：はがきに氏名、電話番号、託児希望者は子ども

の名前、年齢を書いて、8月31日までに市役所女性政策課へ。電話も可。多い場合は抽選。活動発表への参加は申し込み不要。

▼申し込み：はがきに氏名、電話番号、託児希望者は子どもの名前、年齢を書いて、8月31日までに市役所女性政策課へ。電話も可。多い場合は抽選。活動発表への参加は申し込み不要。

一条高等学校開放講座

英語会話 とき：Aコース 9月22日、11月17日の毎週金曜日(11月3日は休講)午後5時半～7時、Bコース 9月16日、11月11日の毎週土曜日(11月4日は休講)午後1時～3時

▼ところ：一条



ABC...

人権草の根講演会

人権意識を高め、人権問題の解決に向けて、各地区で「人権」をテーマとした人権草の根講演会を開きます。くわしくは、市役所社会教育課へ。

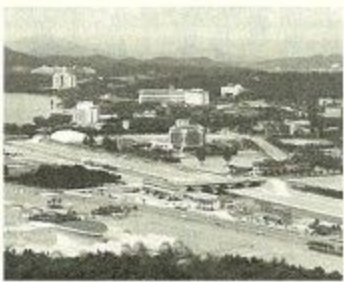
定員…各回100人 ▶受講料…無料 ▶申し込み…不要。直接会場へ。

地区	とき・ところ	講師・演題
大柳生	8/30(水)午後7時～9時 興東公民館	東市小学校教頭の大寺和男さん 「人権文化をくらしのなかに」
東里狭川	8/30(水)午後7時～9時 興東公民館東里分館	市人権啓発講師団講師の青木嘉子さん 「先生の靴にのびる～コミュニケーションは生きる力～」
佐保佐保川	9/2(土)午後2時～4時 若草公民館佐保分館	県同和教育推進協議会事務局長の三谷誠一さん 「人と人との豊かなつながりを求めて」
伏見南	9/2(土)午後2時～4時 伏見南小学校図書室	大安寺小学校校長の成田進さん 「風さわやか心はればれ」
柳生	9/5(火)午後7時～9時 柳生公民館	市同和教育推進室室長の楳山素伸さん 「わたしたちのくらしと人権」
田原	9/5(火)午後7時～9時 田原公民館	市同和教育推進室指導主事の松原成和さん 「人権文化」の創造をめざして」

新しい千年の息吹 ～出会いと融合～

韓国・慶州 世界文化エキスポ2000

姉妹都市の韓国慶州市で、今秋「慶州世界文化エキスポ2000」が開催されます。



慶州普門観光団地

これは、世界の四大文明をはじめ世界各地の文化を紹介し、新たな千年に向かって、観覧者自らが各種の行事に参加できるエキスポです。

また、エキスポ内の姉妹地域館「友情の家」に奈良市のブースを開設します。



【とき】9月1日(金)～11月10日(金)の71日間
【ところ】大韓民国 慶尚北道 慶州普門観光団地エキスポ会場
【問い合わせ】市役所国際交流室へ。

高校記念館 ▼定員：成人各30人 ▼
 内容：初級英会話 ▼講師：一条高校
 外国人講師 ▼受講料：無料 ▼申し
 込み：往復はがきに希望コースと住
 所、氏名、年齢、電話番号を書いて、
 9月2日必着に同校外国語科(〒630、
 800 法華寺町一三五) ☎三三三三七〇七
 (五)へ。多い場合は抽選。

東老春の家

〒630 法蓮町一七〇二一
 ☎二四一三二五

上方落語のついで「納涼福福寄席」
 ととき：8月27日(日)午後1時～3時 ▼
 出演：桂ちゃん好さん、林家花丸さん
 ▼対象：60歳以上の人とその家族 ▼
 参加料：無料 ▼申し込み：不要。当
 日直接会場へ。

まつぼっくりならまち少年 少女合唱団秋季団員募集

今夏は、子どもたちの歌声に平和の
 メッセージを託して、ニューヨークの
 国連本部でもコンサートを行いました
 た。その経験を生かし、国際交流やわ
 らべうたを訪ねての合宿など、歌声を
 通したふれあいを求めて活動していま
 す。

ととき：見学
 会 9月9日
 (土)午後3時～
 5時、9月30
 日(土)午後3時
 ～5時。説明
 会 9月30日
 (土)午後5時～
 6時。面接 10
 月3日(火)午



後5時。入団式 10月7日(土) ▼とこ
 ろ：音声館(鳴川町) ▼対象：小・
 中学生 ▼問い合わせ：同館(☎二七
 一七七〇〇)へ。

応急手当普及員講習

応急手当をひろめよう

職場や地域で、応急手当の普及講習
 ができる応急手当普及員になってもら
 おうと開きます。

ととき：9月20日(木)・21日(木)・22日(金)
 の3日間午前9時～午後5時 ▼とこ
 ろ：防災センター(八条五丁目) ▼
 定員：30人 ▼内容：応急手当の普及
 に関する基礎的な知識・技能・指導要
 領など ▼受講料：テキスト代2千700
 円 ▼申し込み：9月8日までに防災
 センター(☎三五一一〇六)へ。多
 い場合は抽選。

はがきサイズの展覧会
 作品募集

財ならまち振興財団が開くならまち
 合同大学祭の「はがきサイズの展覧会」
 で展示する作品を募集します。

ととき：10月8日(日)・9日(祝) ▼とこ
 ろ：ならまちセンター(東寺林町)
 ▼内容：「まつり」をテーマにした作
 品(絵、写真、切り絵、立体など)を
 はがきサイズの大きさに募集します。
 一人1点限りの応募とし、優秀作品に
 は賞品があります。作品は返却しませ
 ん ▼申し込み：作品と、住所、氏名、
 電話番号を書いて、9月16日必着でな
 らまちセンター(〒630、836 東寺林町三
 八 ☎二七一―一五一)へ ▼問い合

わせ：ならまち振興財団(☎二七一―
 八二〇)へ。

週末は ならまちコンサートへ

ならまち振興財団と市音楽協会が開
 きます。

ととき：9月8日(金)午後6時半～8時
 半 ▼ところ：ならまちセンター(東
 寺林町) ▼定員
 ：小学生以上300人
 ▼内容：市音楽協
 会による「セミナ
 ーコンサート」。
 ピアノ独奏、フル
 ート独奏、オーボ
 エ独奏やオペラ



「ドン・ジョバンニ」・「ミトラレーネ」
 よりソプラノ独唱など ▼申し込み：
 往復はがきに住所、氏名、電話番号を
 書いて、8月31日必着で同センター
 (〒630、836 東寺林町三八 ☎二七一―一
 五二)へ。多い場合は抽選。1枚に一
 人限り。

名勝大乗院庭園文化館

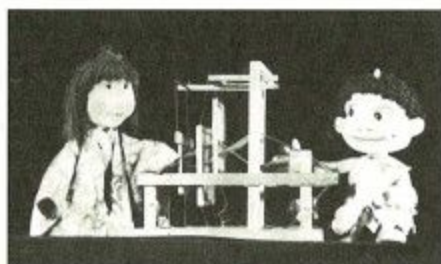
〒630 高畑町一〇八三一
 ☎二四一〇八〇八

「近代化遺産」展
 明治、大正、昭和初期にわが国の近
 代化に貢献した施設、構造物、機械な
 どを写真とパネルで紹介します。
 ととき：8月23日(水)・9月24日(日)午前9
 時～午後5時。月曜日休館(9月10日は
 展示していません) ▼入場料：無料。

なら100年会館催し案内

なら100年会館 こども人形劇場

童話を題材にした楽しいっぱいの人形劇です。
 今回は、グリム童話の名作「おおかみと七ひきのこやぎ」、
 あまんじゃくのいたずら話「うりこ姫とあまんじゃく」で
 す。民話のおもしろさを生かし、新しい舞台表現でこども
 たちを人形劇の世界へ誘います。



【と き】10月29日(日) ①午前11時 ②午後2時
 【と ころ】なら100年会館小ホール
 【出 演】人形劇団クラルテ
 【入場料】1,000円(全席自由・2歳以下は無料)
 【入場券】8月31日(木)から同館で発売
 【問い合わせ】同館(三条宮前町7-1 ☎34-0100)へ。

8月31日は国民健康保険料第3期分の納期限です。納付には便利な口座振替をご利用してください。

スポーツ

ならやま屋内温水プール

〒631-0801 左京区五丁目三十一
☎34-0777 四 ☎七二一〇七三三

〈ならやま水泳教室〉

女性の部 とき：10月4日、12月20日の毎週水曜日 ①午後1時～2時 ②午後2時10分～3時10分。各12回 ▼定員：18歳以上の女性各コース15人 ▼受講料：6千600円。

小学生の部 とき

①小学1～3年の部 10月6日、来年月12日の毎週金曜日 午後3時50分～4時50分。11回 ②小学4～6年の部 10月4日、12月20日の毎週水曜日 午後3時20分～4時15分。12回 ▼定員：各10人 ▼受講料：①6千500円 ②6千600円。



〔申し込み〕 往復はがきに住所、氏名、年齢（小学生の部は学年も）、電話番号、女性の部は希望コースを書いて、9月9日必着で同プールへ。多い場合は抽選。

〔その他〕 参加者には健康診断証明を提出してもらいます。

障がい者の部（下半期分） とき

10月6日、来年月30日の毎週金曜日 ①午後1時半～2時20分 ②午後2時半～3時20分。各22回 ▼定員：18歳以上の肢体・内部・聴覚言語・視覚の障がい者各部20人（介添えの必要な人は同伴） ▼受講料：無料。

障がい児の部（下半期分） とき

中学・高校生の部 10月4日、来年月28日の毎週水曜日 午後4時20分～5時23分。小学生の部 10月6日、来年月30日の毎週金曜日 午後4時55分～5時40分。22回 ▼定員：小学生、高校生の知的障がい児と保護者各部10組 ▼受講料：無料。

〔申し込み〕

はがき、フアクシミリまたは参加申込書に住所、氏名、年齢、電話番号、障がい者の部は障がいの種別・等級（くわしく）、希望コース、障がい児の部は学年、障がいの級別を書いて、9月10日必着で同プールへ。多い場合は抽選。

〔その他〕

参加の際は、かかりつけの医師と相談してください。医師の入水許可がない場合は参加できません。

婦人バレーボール 秋季ふれあい大会

市婦人バレーボール協会が開きます。

とき

9月17日(日)午前9時 ▼ところ：南都生涯スポーツセンター体育館(香町) ほか ▼対象：40歳以上の婦人（チーム参加の場合は50歳以上一人以上、45歳以上3人を含むこと。個人参加も可） ▼試合方法：グループ・リーグ戦 ▼参加料：無料（協会未登録者は200円） ▼申し込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、9月1日必着で市役所体育課へ。



写真美術館

〒630-8301 高畑町6-0-0-1
☎22-9811
☎22-9722

8月からの展示 8月22日(火)～9月24日(日)

「幻想模様」

畑沢基由・吉田昭二

「特殊技法」と呼ばれる様々な表現方法で、独自の新しい作品を作り続けている畑沢基由の幻想的な夜の風景作品15点と、吉田昭二の絵画的な花の作品39点の54点で紹介いたします。



畑沢基由 幻燈会から



吉田昭二 花たちから「カラー」

9月24日(日)まで開催

入江泰吉「大和の風」 ～月と花の彩り～

▶開館時間…午前9時半～午後5時（入館は4時半まで） ▶休館日…月曜日 ▶観覧料…大人500円/高校・大学生200円/小・中学生100円（夏休み期間を除き、第2・4土曜日は小・中・高校生は無料）。第2土曜日午後2時から当館学芸員による作品解説があります。

スポーツ施設を開放

〈二般開放〉

鴻ノ池陸上競技場（法蓮町） とき
9月3日(日)午前9時～正午・午後1時～4時 ▼種目：ジョギング、競技練習（投てきは無し）。

〈学校週5日制開放〉

鴻ノ池陸上競技場（法蓮町） とき

9月9日(日)午前9時半～11時半 ▼種目：陸上競技 ▼対象：小学生 ▼申し込み：不要。当日午前9時半までに直接会場へ。

市民テニスクール

市テニス協会が開きます。

とき：9月15日(祝)・17日(日)・23日(祝)の午前9時～午後3時（予備日24日） ▼ところ：柏木テニスコート（柏木町） ▼定員：中学生以上120人。経験は問いません。在勤・在学も可 ▼受講料：

〔その他〕 学校のクラブ活動での使用はできません。必ず運動靴を使用してください。

〔問い合わせ〕 中央体育館（☎二四一五〇一）へ。

一般3千円、中学・高校生2千円（スクール初日に徴収）▼申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、テニス経験年数、所属クラブ名を書いて、8月30日必着で市テニス協会事務局の杉江啓雄さん（〒631-0013中山町西三丁目五三五―五三四 ☎四七―〇九九五）へ。1枚に一人限り。多い場合は9月2日午後5時から平城東公民館で公開抽選。



各公民館の教室への申し込みは、往復はがきに教室名、住所、氏名（ふりがな）、年齢（学年）、電話番号を書いて、締め切り日必着で各公民館へ。はがき1枚に一人1教室。多い場合は抽選。受講料は不要。材料費・交通費は自己負担。

都跡公民館

〒630-0032 五条町二〇四―一
☎三三―四一五九五

ワンダーフォーゲル入門教室

春日公民館と共催で開きます。車では味わえない自然との一体感。畿内の低山をめぐる、軽登山の基礎について学びます。

とき・ところ：

オリエンテーショ

ン 9月17日(日)午

前10時～正午・春

日公民館。現地

①10月15日(日)・二

公民館



上山②11月19日(日)・額井岳③12月17日(日)・湖南アルプス④乗年1月21日(日)・音羽山⑤2月18日(日)・大文字山⑥3月18日(日)・六甲山 ▼定員：成人45人 ▼受講料：現地までの交通費は自己負担。昼食は各自持参 ▼締め切り：9月5日必着。

富雄南公民館

〒631-0052 中町五〇―一三
☎四八―三〇六六

子ども絵画・工作教室

得意な子も苦手な子も楽しくみんなです。とき：10月14日～来年3月10日の第2・4土曜日午前9時半～11時半。10回 ▼定員：富雄南中学校区の小学3～6年生25人 ▼締め切り：9月30日

古典文学教室「奥の細道」(全文)

松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」をもとに芭蕉が旅した道をたどります。とき：9月13日～来年3月14日の第2・4水曜日の午後1時半～3時半。12回 ▼定員：成人50人 ▼締め切り：9月4日。

三笠公民館

〒630-6115 大宮町四丁目三三―三三
☎三三―一〇五一五

絵手紙教室

絵手紙に興味をもってもらおうと開きます。とき：9月8日、10月13日、11月10日、12月8日の金曜日午前10時～11時半 ▼定員：成人20人 ▼締め切り：8月25日。

奈良公園と春日山原始林を探る

とき：9月20日、10月4日、11月15日の水曜日午前9時半～11時半(11月15日

9月9日は救急の日！ みんなで来てね 救急展

市消防局が、市民のみなさんに救急医療や救急業務に対する正しい理解と認識を深めてもらい、緊急時の応急手当の方法などについての知識の普及を図るために開きます。



とき…9月9日(日)午後4時～6時 ▶ところ…奈良そごう前広場(二条大路南一丁目) ▶内容…応急処置・血圧・体脂肪測定コーナー、梯子車搭乗体験、市消防音楽隊の演奏 ▶入場料…無料。当日直接会場へ ▶問い合わせ…市消防局救急救助課(☎35-1190)へ。

は午後4時まで。3回 ▼講師：奈良商業高等学校教諭の谷幸三さん ▼定員：成人30人 ▼締め切り：8月29日。市内の御陵めぐり 古代史を舞台に、市内の御陵を歩いて訪ねます。とき：9月29日、10月27日、11月24日の金曜日午前10時～午後3時。3回 ▼講師：郷土史家の西村富徳さん ▼定員：成人50人 ▼締め切り：8月29日。



若草山と春日山原始林

柳生公民館

〒630-2307 柳生町三二四〇
☎九四―一〇五〇四

ステンシル入門教室

アメリカ生まれの型染め、ステンシルの技法を学びます。とき：9月14日～来年2月8日の毎月第2木曜日午前10時15分～11時45分。6回 ▼定員：成人女性20人 ▼締め切り：8月29日。

少しでも興味をもってもらおうと開きます。とき：9月19日(火)・22日(金)。朝の部 午前9時半～11時半、昼の部 午後1時半～3時半、夜の部 午後6時半～8時半。各4回 ▼定員：全出席できる人各10人 ▼資料代：千500円 ▼締め切り：8月30日 ▼その他：必ず希望の部を書いてください。

京西公民館

〒630-8044 六条西一丁目二三四三二一
☎四四一―二六六九

煎茶教室

日本古来の伝統ある「煎茶」の基本的な作法を学びます。

とき：9月20日



～来年2月21日の毎月第1・3水曜日。午前9時半～11時半。10回。▼定員：成人15人

▼締め切り：8月31日。

マクラメ入門教室

～ひもが織り成す世界～
ひもを結んだり巻いたりして、色々な作品を作る「マクラメ」の技術を学びます。

とき：9月20日、12月20日の毎月第1・3水曜日午後1時半～3時半。7回。▼定員：成人30人。▼受講料：材料費として1回約千円。▼締め切り：8月31日。

富雄公民館

〒631-0055 富雄町二丁目九
☎四三―一五三八六

大和の美術館めぐり

～奈良県立美術館～

特別展・英国アバディーン美術館所蔵「イギリス・フランス近代名画展」の見どころを学びます。

とき：9月7日(休)午前10時～正午

▼ところ：県立美術館(現地集合・解散) ▼講師：一水会会友の増井清さん ▼定員：大人25人 ▼参加料：入場料として一人千200円 ▼締め切り：8月25日。

平城公民館

〒631-0811 秋篠町一四六八
☎四八―一三五六八

親子で童話を楽しむ会

親子で童話や紙芝居などに親しみ、豊かな感性を育てます。

とき：9月9日、12月9日の毎月第2土曜日午前10時～11時半。4回。▼定員：4歳～小学3年生と保護者20組

▼締め切り：8月27日。▼その他：全員の氏名(ふりがな)、年齢(学年)、性別を書いてください。

平城西公民館

〒631-0804 神功四丁目一五
☎七―一五七二一

はじめての謡曲(うたい)

謡曲の世界をちよつとのぞいてみようとなります。

とき：9月3日(日)～来年3月18日(日)の午後1時半～3時半。12回。▼定員：10人。▼講師：金春流能楽師教授の中田秀一さん。▼締め切り：8月25日。

西部公民館

〒631-0036 学園北一丁目一四
☎四四―一〇一〇一

なら歴史探訪

社寺・史跡など歴史的文化について現地で学びます。

とき：9月21日(木)・高畑方面、10月26日(木)・石切方面、11月16日(木)・山の辺の道。

いずれも午前9時～午後4時。▼講師：郷土史家の中高弘さん。▼定員：60人。▼締め切り：8月31日必着。



中央公民館主催事業

国際交流ボランティア講座

これから国際交流のボランティアを始めようという人たちのための基礎講座です。国際化の現状や基礎的な情報を得ながら、活動中のボランティアや奈良在住の外国人とその現場の状況や課題を共有し合う機会を持ち、活動への動機付けやヒントを学びます。

とき	テーマ
9/10(日)	奈良で進む国際化 どんな国際交流が必要ですか
9/24(日)	見学・外国人のための日本語ボランティア
10/8(日)	地域から広がる国際協力～ネパール・タイ・コンボ支援など～
10/29(日)	ドイツと奈良の環境ボランティア
11/26(日)	講座から行動へ～体験を共有しよう 私が始めた国際交流ボランティア

時間はいずれも午前9時半～11時半

講師…国際交流コーディネーターの仲川順子さんほか
▶定員…成人30人 ▶参加料…無料。材料費などは自己負担
▶申し込み…往復はがきに、講座名、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、8月31日必着で中央公民館(〒630-8228 上三条町23-4 ☎26-6506)へ。多い場合は9月3日午後2時から同館で公開抽選。

生涯学習センターだより

市生涯学習情報提供システム「ならおっと」の登録の中から生涯学習活動をしているグループを紹介し、入会手続きなど詳細についてはそれぞれの連絡先へお願いします。

【伏見公民館あやめ池分館カラオケ教室】(内)カラオケ(数)74人、男7人・女67人(入)カラオケに興味のある人歓迎(施)・(連) ☎45-4743 伏見公民館あやめ池分館(あやめ池南一丁目)

【二名琴の会】(内)箏曲(数)13人、女13人(入)琴に興味のある人歓迎(施)二名公民館(学園赤松町)(連) ☎44-8992 代表の黒田ヒサコ

【琴乃音会】(内)琴の練習(数)13人、女13人(入)多少経験のある人見学歓迎(施)二名公民館(連) ☎43-5923 代表の田處節子

【交楽館女声合唱団アンダンテ】(内)コーラス(数)31人、女31人(入)コーラスやボランティア活動に興味のある人(施)青年の家交楽館(半田園町)(連) ☎23-4872 代表の水谷登美子

【長月会】(内)拓本、翰装、裏打(数)14人、男2人、女12人(入)年齢、男女を問わず歓迎見学OK(施)生涯学習センター(杉ヶ町)(連) ☎23-9307 代表の引原悦子

略字の説明…(内)=活動内容(数)=会員数、男・女(入)=入会情報(施)=主な活動施設(連)=連絡先

【問い合わせ】それぞれの活動施設へ。この欄への掲載申請、「ならおっと」に関する問い合わせは生涯学習センター(☎26-8811)へ。

健康のコーナー

保健センター (二条大路南一丁目1-30 ☎34-1111)
 奈良診療所 (二条大路南一丁目1-28 ☎34-1111)
 総合医療検査センター (柏木町519-5 ☎33-7876)

市民のみなさん、食中毒(0-157など)に注意しましょう。

1歳6か月児健診と妊産婦歯科健診

1歳6か月児健診

▶対象…平成11年1月生まれの子。問診票は送りますが、8月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…身体計測、内科診察、歯科診察、口腔衛生指導、保健指導

妊産婦歯科健診

▶対象…妊産婦。直接会場へ ▶内容…歯科診察、口腔衛生指導

【問い合わせ】市役所健康増進課へ

9月 受付は午後1時15分～2時15分

と き	と ころ
7日、14日、21日、28日	保健センター

3歳6か月児健診

▶対象…平成9年2月生まれの子。問診票は送りますが、8月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…視聴覚問診、身体計測、検尿、歯科診察、内科診察、口腔衛生指導、栄養指導、保健指導 ▶問い合わせ…市役所健康増進課へ。

9月 受付は午後1時15分～2時15分

と き	と ころ
5日、12日、19日、26日	保健センター

4か月児健診

▶対象…平成12年5月生まれの子 ▶受診期間…満4か月になった日から1か月以内。問診票は送りますが、8月1日以降の転入者などで届かない人は、市役所健康増進課へ ▶内容…身体計測、問診、内科診察 ▶受診場所…市内指定医療機関 ▶持ち物…問診票、母子手帳 ▶料金…無料。

乳児健康相談

▶対象…平成12年1月生まれの子。問診票を送りますが、8月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…身体計測、運動発達の観察、問診、育児・栄養指導 ▶問い合わせ…市役所健康増進課へ。

9月 受付は午前9時半～10時半

と き	と ころ
11日、13日、18日、20日、25日、27日	保健センター

ツベルクリン反応検査・BCG接種

結核予防のため、ツベルクリン反応検査をし、2日後に判定をし陰性のときはBCG接種を行います。

▶対象…ツベルクリン反応判定当日生後3か月以上48か月未満の子で、未検査見と前回1回受けて陽性の子。

〈受けられない子〉

①1年以内にひきつけ(けいれん)をおこした子(単純性熱性けいれんと診断された場合は、この限りではない)②ポリオ、麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそうの予防接種を受けてから各4週間、その他の予防接種を受けてから1週間たっていない子③B型肝炎(HB)ワクチンの接種を受けた子は3回完了後1週間あけてください④麻しん、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそう、りんご病、手足口病の病気が治ってから4週間たっていない子、また家族などのだれかが上記の病気にかかっている場合は、それぞれの潜伏期間をあける必要があります⑤突発性発疹が治ってから2週間たっていない子⑥その他予防接種を行うことが不適当な状態にある子 ▶とき・ところ・対象小学校区…下表(他校区は順次掲載) ▶問い合わせ…市役所衛生課へ。

9月

ツベルクリン検査	判定BCG	と き	実施場所	対小学校区
4(月)	6(水)	14:00～14:45	保健センター	登美ヶ丘・鶴舞・朱雀
5(火)	7(木)	14:00～14:45	田原公民館	田原・水間
5(水)	7(金)	14:00～14:30	柳生公民館	柳生
		14:45～15:15	興東公民館	大梅生・相和
11(月)	13(水)	14:00～14:45	保健センター	伏見南・泉市・葦阪北

※当日は母子健康手帳を持参してください。

ヘルスマイト(食生活改善推進員)ボランティア養成講座

食を通して地域により良い食生活を広める食生活改善推進員を養成します。

▶とき…9月22日、10月6日・20日、11月10日・24日、12月8日・22日、来年1月12日・26日の金曜日(9月22日～11月24日で1日実習) ▶時間…午前9時半～午後2時半(実習と1月12日は午前9時

半～午後2時半) ▶ところ…市保健センターほか ▶定員…10回受講可能で、修了後に地域社会で健康づくり普及のボランティア活動ができる熱意のある人32人 ▶内容…栄養バランスや80kcal点数計算、生活習慣病予防、健康づくり普及活動についての講義・実習など ▶教材費…1,000円 ▶申し込み…往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、受講動機を書いて、8月31日必着で市役所健康増進課へ。多い場合は抽選。

目の健康相談日

県眼科医会が無料で開きます。

▶とき…9月12日(木)午後2時～3時 ▶ところ…県医師会メディカルセンター(橿原市) ▶問い合わせ…県医師会内県眼科医会の池田さん(☎0744-22-8502)へ。

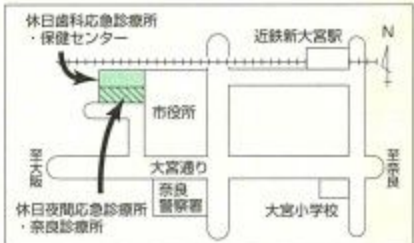
休日・夜間の急病診療

■休日夜間応急診療所(二条大路南一丁目奈良診療所 ☎34-1228) ▶

診療科目…内科・小児科 ▶診療時間…休日=毎日曜・祝日午後1時～7時(受付は午後零時半～6時半)、夜間=毎日午後10時～翌朝6時(受付は午後9時半～翌朝5時半)。

■休日歯科応急診療所(二条大路南一丁目保健センター内 ☎34-3144) ▶

診療時間…毎日曜・祝日午前10時～午後4時(受付は午前9時半～午後3時半)。



手足口病に注意しましょう!

手足口病は乳幼児から小学生によく見られ、発熱とともに手のひら、足の裏、口の中に発疹と水泡が現れる病気で、全国的に流行しています。感染者の鼻やのどからの分泌物や便とともに排出されたウイルスが飛び散り、口に入ったり接触することにより人から人に感染します。現在、有効なワクチンがないため次のことに注意してください。

- 手をよく洗いましょう(特におしめなどを交換したとき)。
- 汚れた衣服をまめに洗濯しましょう。

【問い合わせ】市役所衛生課へ。

来月の こよみ

9 月



奈良しみんだよりは再生紙を使用しています。限りある資源を大切にしましょう。



市民ふれあい福祉大会 (中央体育館)

福祉への関心を高め、市民相互のふれあいを大切に、やさしさとふれあいのある住みよいまちづくりをすすめようと開いています。

敬老の日にあたるこの日には、県庁前を出発し中央体育館までの2.2キロメートルを高齢者のみなさんが歩く万年青年大行進も行われます。

昨年の大会には、約4,200人が参加し、地域福祉の向上などに貢献された人への感謝状贈呈や保育園児による歌や演技などが披露されました。

◆おもな行事予定◆

1金 防災の日 市立小・中・高等学校、幼稚園始業式(学務課)	16土 お月見コンサート(音声館)
2土 人権草の根講演会(社会教育課) ピアノコンサート石橋直子リサイタル(文化振興課)	17日 お茶会(名勝大乗院庭園文化館)
3日 エントランスコンサート(音声館) デッサン能(ならまち格子の家) コンパクトカメラ写真教室(10日写真美術館) 市民実技講座木による造形(文化振興課)	18月
4月	19火 人権草の根講演会(社会教育課)
5火 人権草の根講演会(社会教育課)	20水 彼岸入り ならマイカーひとやすみデー、ポイ捨て防止街頭啓発(環境交通課) ナマ演奏で楽しむレクチャー・コンサート(なら100年会館) 市民実技講座作品展(～22日文化振興課)
6水	21木 秋の交通安全運動(～30日) 交通安全市民決起大会(環境交通課)
7木 白露 女性フェスティバルinなら(女性政策課) 友好姉妹都市児童生徒交換作品展(～10日指導課)	22金 館外見て歩こう会(総合福祉センター)
8金 ならまちコンサート(ならまちセンター)	23土 秋分の日 秋分 ならチェン(ーアンサンブル定期演奏会(文化振興課)
9土 救急の日 救急展(消防局)	24日 秋季囲碁・将棋大会(東老春の家)
10日 東老春の家同好会発表会(東老春の家) ならまち篝火コンサート	25月 市庁舎ふれあいコンサート(文化振興課)
11月 人権を確かめあう日	26火
12火 十五夜 采女祭(采女神社) 観月讃仏会(唐招提寺)	27水
13水	28木
14木 人権草の根講演会(社会教育課)	29金 ハリ・マッサージ無料奉仕(高齢者福祉課)
15金 敬老の日 志貴親王御忌(白毫寺) 芝能(県新公会堂) 万年青年大行進(高齢者福祉課) 市民ふれあい福祉大会(厚生課・広報公聴課) お茶会(ならまち格子の家)	30土

大賞受賞作品

かげろいの日々 左近育子さこんいくこ作

これまでのあらすじ

東京から奈良にやってきた井村は、親友の石島の計らいで彼の空屋敷に住み、大学の非常勤講師として仕事に熱中し忙しい日々を送っている。一緒に仕事をしてきた兄との心のもつれから、工場を辞めて奈良にきたのだが、その井村の胸には亡き妻への鎮魂の思いが常にあった。

幼い息子を交通事故で失い、それが自分の不注意であったと悩んだすえ精神がおかしくなった妻を連れて奈良に来たことがある。十余年前のことである。精神科の医師から、妻涼子が心の支えとして求めている仏を探そうにいわれ、彼女の育った土地の寺を二人で歩き、その日々を思い出していた。東大寺の大仏にも興福寺の阿修羅像にも心を開かなかった涼子は幼い日々病弱な母に連れられて通いつづけた薬師寺と唐招提寺に足を向けた。そして、唐招提寺の千手観音菩薩の前で涙をながし、その仏にわが心を開いたようだった。

その四

先日、家の掃除にやってきてくれたひかりちゃんが、春日大社の藤がそろそろ咲き出したらしいと言った。

砂ずりの藤は濃い紫の長い房が地面に届くほど垂れ下がることで有名らしい。

学生の頃、藤原氏の氏神である春日大社の境内には何度か来たが、その藤の咲くのを見たことはなかった。来るときは春休みか夏休みで藤の花の咲く頃に巡り合わせていなかったのである。

その藤の花房を見ようと思いついた。

きょうは講義もないし、ひさしぶりに散歩でもしたい気分だった。

桜のころは公園全体があわいピンクに染まり、観光客や花見客と若者たちの歓声でにぎわっていたが、すっかり葉桜になってしまった平日の公園は人もまばらであった。

冬枯れで茶色かった草むらにはいつの間にか雑草がよみがえり、松林の間をゆつたりと歩いている鹿のむれが新芽を食んでいた。

興福寺の五重の塔のまわりには、觀光バスから降りたばかりの修学旅行らしい学生たちが群がっていた。

これから見学が始まるらしい。東金堂、国宝館、見ごたえのある仏像たちを彼らはどれほど理解できるだろうか。

歴史の教科書に載っている仏を目の前で見た感動は、学生時代の井村にはあった。しかし大人になり長い人生を歩み辛苦を知って、いまはじめて仏が自分の体の中で理解出来るようになった。

阿修羅像を見て自分だと言った涼子の中で、仏はいつだってどんな存在だったのだろうか。

苦しみ抜き泣きつかれた果てに、もはや人間を通り抜けてしまった涼子には阿修羅像は自分の分身のように思えたのだろうか。

井村はいつもそのことが心に引っ掛かっていた。

興福寺はもともと山階寺と呼ばれ、藤原鎌足の妻の鏡女王が鎌足が造立した釈迦三尊像を安置するために建てたという。飛鳥に移され既坂寺いさかざきになり、

奈良に来て興福寺となった。

東大寺とともに南都焼き打ちに遭い、室町、江戸時代と何度も大火に遭い、藤原氏が栄華をきわめた千三百年の古い歴史の寺ではあるが、廃仏毀釈の嵐の中で食堂や細殿は壊され、仏像、経巻、仏具は捨てられたという。まさに悲惨な目に遭った寺でもある。



国宝の五重の塔さえ五十円とか二十五円とかで売り出され、金具を取るだけ为目的で焼かれそうになったのを、類焼を恐れた付近の民衆の反対で助かったのである。

よくぞ、この美しい姿で現在まで生き延びたものだ。ゆるやかに反った重厚な屋根を青空の中に光らせている五

重の塔を、井村はゆっくりと見上げた。

奈良国立文化財研究所が発掘調査中の現場が黄色い鉄柵に囲まれていた。作業員が三人無言で土を掘り返している。創建時の同寺の中心だった金堂周辺の千五百平方メートルほどの発掘らしい。掘り出された溝と幾つかの礎石の跡が昔を物語っていた。

一の鳥居から南門まで九百メートルほどの参道の両側には、石燈籠が並んで続いていた。

八月の十四、十五日の夜にはその石燈籠のすべてに火が入る。参道は柔らかな光りに揺れ、社殿の回廊の釣燈籠にも火が揺れ、朱塗りの社殿が妖しい光りに浮き上がり、幻想的だったのを覚えていた。

そのときも石鳥と涼子が一緒だった。

春日万燈籠は節分の方がきれいだと涼子は言った。

「お盆は人も多いし暑いからあかん、二月は底冷えして寒いけど、燈籠の火が震えているみたいに澄んでいてきれいんや、何や悲しいようなさみしい気持ちになるんや。そやけど、うちはその方がずうっと好きや、雪降ってみ、あたりが白うて夢ん中歩いているみたいや」

涼子は娘の頃から研ぎ澄まされた神経の持ち主だったのかもしれない。まだ快活な女の子でしかなかった涼子が言った言葉の繊細さを、いまになって井村は思い出していた。

二十年に一度の神事で建て替えられた春日大社の神殿はいまも修復工事が行われていて、回廊は朱の色も鮮やかであった。

藤の花が目当ての参拝客が、狭い境内に群がっていた。

樹齢五百年以上も経つらしい藤は老木の枝を低く四方に巡らせ、竹の棚に支えられてまだ五分咲きであった。花は紫というよりもやや薄白い青さが目立つ花ではあったが、春の風に心なしか揺れる長い花房は、地面に垂れて重そうだった。

社殿を出て参道を引き返しながらか、久しぶりに万葉植物園にでも立ち寄って見ようと思った。そこにも藤が沢山あるはずである。

春日大社の神苑で万葉集に詠まれた草木約三百種が植えられている庭園だ。会津八一や折口信夫、藤村などの文学碑などがあり、きょうのように晴れた日はゆったりと散策するには適した静かなところである。

池の淵で鯉でも眺めながら本でも読もうと思いつき、万葉植物園の入り口まで来て、ふと立ち止まった。

すぐ側の茶店から出て来た女が井村の目に止まったのだ。いましがた自分の傍らを擦り抜けて行った女は、どこかでみたことのある顔だ。咄嗟にそう感じたが思い出せない。

住んで居る家の近辺の人だろうか。井村の住んでいる元興寺界隈は町家が密集していて細い路地を歩いていると

いやでも顔と顔を突き合わせることになる。

半年前に来て石島の空き家に居候している男であることは、小さな町中に知れ渡っていた。死んだ涼子の夫であることも知れていて、なぜか、みんな親切なのだ。いつの間にか町内の人の顔もおおよそ覚えていた。

見知った顔の一つ一つを頭の中に浮かべてみても思い当たらない。すれ違ひざまに感じたインスピレーションは何だったのだろうか。なぜか気になった。

井村は黒い手提げ袋を持って歩いて行く女の後ろ姿を目で追っていた。小柄でやや背を丸めて、せわしく歩く後ろ姿には見覚えがあった。

たしかに見覚えがある。何処だろうか。思い出せないが見覚えがあるのだ。苛立つ思いで遠ざかって行く女の後ろ姿を執拗に目で追いつけていた。

女は参道を一の鳥居の方に歩いて行かず、すぐ右に折れた。女の姿を見失わないように、井村はあわてて後を追っていた。

女はバス道を越え、新公会堂の前を通りすぎて奥へ奥へと進んで行く。公園を散策する人影にともしれば見失いそうだった。女を追いかけてどうしようというのだ。己に問いながら、わけもなく女の後に続いた。

ああそうだ。あのときも暮れかかった薄闇の中に消えて行く女の後ろ姿を目で追っていたのだ。何処の女だろう

と思ひ、何処へ帰るのかと気になっていた。うつむき加減になって小走り間に消えた中年の女。

涙に濡れた顔を手の甲で撫でながら、井村の横を擦り抜けて行ったあの女の顔を忘れてはいない。

あの女だ！法華堂の中で不空羅索観音に向かつて涙を流し続けていた女だ。涼子が千手観音菩薩の前で流し続けた涙と同じ涙を流していた女である。あのとき、井村は釘付け状態で女の横顔を見続けていた。鼻の低い頬骨の高い小柄な女。セーターにストラックス姿、

サンダル履きの気軽な身なりはどうみても遠くから来た観光客ではなかった。この近くの者であろうかと妙に心に残ったのを、今はつきり思い出せる。

井村は急に速足になり女の後を追ってみたくなった。

あの女かどうか確かめたい衝動に駆られていた。

半年前、奈良に腰を落ち着けようとして決心したその日に出くわせたあの女の印象は強烈なものだった。その女の中に涼子を見てしまった井村は、その後

も何度か女のことを思い出していた。

あの女はまたあの不空羅索観音像の前でさめざめと涙を流し続けているのだろうかと考えたこともあった。

あれ以来、井村は忙しさに紛れて法華堂には行ってはいなかった。

まるで探偵のように女を尾行していた。女は気づいてはいない。井村は彼女

を強烈に覚えていたが、相手はまったくこちらを知らないのだ。横に並んでも彼女はおそらく井村の存在には気づかないだろう。

女は岐路に来ると、若草山のほうには行かず手向山神社、二月堂と矢印のあるほうに足を向けた。やはりあの女だ。きつと、

あの仏に会いに行くのだ。井村は確信し胸のはやるのを感じてなおも尾

行した。

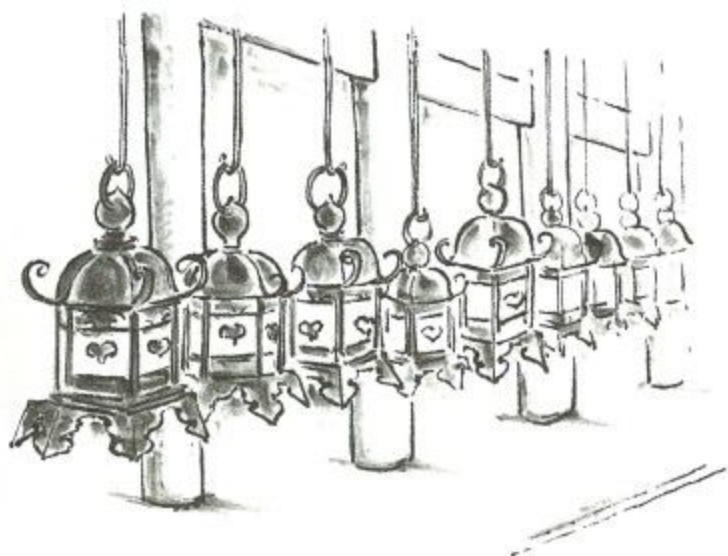
女はゆるい石段を上がり、手向山神社の境内に入った。拝殿に賽銭を投げて軽く頭を下げた。そして小さな山門を抜けると、迷うことなくすぐ側の法華堂の中に消えた。

女はやはり涙していた。

不空羅索観音の須弥壇の前に僧侶が経を唱える祭壇がある。その前に跪き合掌したまま仏と対峙している女を、

円柱の陰から以前のようにじっと眺め続けていた。

女の中に涼子を見つけてしまった井村にとっては、女の涙は涼子の涙だった。



あちらこちらと彷徨い歩いた涼子が何故あの千手観音に心を開いたのか、いまもってわからない。

自分を呼び止めたという仏の声はあのおそらくは幼いころに死に別れた母のやすらぎを千手観音像の中に本能的に見つけたにちがいない。いずれにしろ、

涼子の心が一時期救われていたのは事実だった。

あのとき涼子をしばらく奈良におき、井村一人が東京へもどった。兄の仕事を手伝うために。

石島の母に付き添われて毎日千手観

音像のもとへ通い続け、涼子は笑みを取り戻した。

半年間も奈良にいた涼子はすっかり元気になって、東京へ戻ってきた。

目の前の女がこの不空羅索観音菩薩にどんな願いと救いを求めているのかもろろんわからないが、井村は何故か気になり女に心ひかれていた。

女は人目もかまわず、ひとしきり涙を流し、腰を上げると目元をハンカチで押さえながら、井村にはまったく気づく様子もなく、堂内を出た。

入り口の香華料と書かれた受付の老人に一礼をした。すると、老人は窓口から顔をのぞかせて女にやさしく声を掛けた。

「ふみさん、ご苦労はんやな。辛うなつたらいつでもおいなはれ。仏さんにおすがり。きつと教うてくれはるさかいな」

女は涙目で笑い、目元を押さえながら外へ出た。

やはりこの近くの者なのだろう。受付の老人は顔見知りの女の事情もわかつていそうな口調だった。

井村は女が何処に住んでいるのか興味を湧いた。この近くに住んでいるとしたらまた会う機会もあるだろう。そのうち何故この仏の下へ通うのか尋ねてみたいものである。

まるでいまはやりのストーカーじゃないか。心の中で苦笑しながら、なおも女の後をつけることにした。女がどこへ帰って行くのかだけは知りたいと

思った。

女は法華堂を出ると石段を上がり、二月堂受納所の横にある休憩所の赤い毛氈のひかれた長椅子に腰を掛けた。奥から若い女の子がすぐに出て来て茶を出した。

「伯母ちゃん、また竜ちゃんのこと拝みに来たんか」

「まあなあ」

女は寂しそうに笑った。
やはりこの女も心の中に重いものを抱えているのだろう。そんなことを考えながら五、六人の観光客に混じって、休憩所の前にある青銅の大きな瓶を眺めていた。口を開けた竜が胴を巻き付けた大瓶からたえず水がしたたり落ちていた。

観光客は柄杓で水を汲み、口を漱いだり手を洗ったりしていた。何人かの観光客をやり過ごして、井村も口を漱ぐと柄杓を持って水に手を差し延べたと同時に、長椅子に座って茶を飲んでいて先刻の女が、驚いたような声を出した。

「せいさん！」

「はあ？」

声を掛けられて振り返った井村のほがが面食らった。

女は手にしていた湯飲み茶碗を地面に落としていた。

井村に不思議そうに見つめられて、女はばつ悪そうに頭を下げた。
「すみません。お人違いでした」
女は地面に落ちた湯飲み茶碗を拾い

上げながら、何度も井村に頭をさげた。
「伯母ちゃん大丈夫か」

店の子が走り出て来た。
「ごめん。欠けてしもたがな」

「そんなんええけど、伯母ちゃん疲れてるんやわ。そないに伯父ちゃんのことばかり気病んだらあかんがな」

「そうやな、このお方を亭主と見間違えるようでは、うちもよっぽど、どないやしてらわ」

「すみませんなあ、お客さんに迷惑掛けてしもうて」

頭を下げた店の子が、井村の顔をじつと見詰めて素っ頓狂な声を出した。

「けど。ほんまに、よう似てはるわ」
井村は何と言っているのかわからず、おもわず苦笑してしまった。

浦野ふみえと親しくなったのは、まったく奇妙な偶然からであった。
井村が、ふみえの中に妻をみつけ、ふみえは自分を捨てた亭主の面影を井村に見たようだった。

腕のいい宮大工だったという亭主がどんな男か知らないが、このわけありの女に井村は興味をもった。
半年前からあなたを知っていたというとき、女は少女のように恥ずかしそうに笑った。

ふみえは近鉄奈良駅前の賑やかな商店街界隈の大衆食堂の女だった。
亭主に逃げられ、息子は他所に行っていないので、兄のところへ身を寄せ、店を手伝っているという。

帰り道の話でそれ以上のことはお互



いに言わなかったが、お近くならたまには店に寄ってくれと女は如才なくその店のマツチをくれた。

どうせ独り身。たまにはその店で食事をするのもわるくないと思った。しかし、考えて見るとこの界隈をうろつくことは井村にはあまりなかった。

大学へはJR奈良駅からだと乗り換えることも無く行けるので、大阪に出るときもその線を利用することが多かった。

元興寺の北門あたりから大通りへ出て西に向かって行くことが多いし、図書館に通うときは猿沢池のふちから亀や鯉を眺めながら興福寺から奈良公園を抜けて美術館の方へと行く。だから、ふみえのいる商店街は井村の日常生活圏には入っていないかった。